

# 令和 3 年度 獨協埼玉高等学校 自己評価シート

目指す学校像	多様かつハイレベルな進路目標をめざす集団作りと併せ、豊かな環境のもと、自ら考え、判断し行動できる若者を育てる。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 能動的学習をなおいっそう取り入れ、自ら考え判断できる若者を育てる。</li> <li>2. 多様な進路目標の実現に向けて努力する。</li> <li>3. 登下校時の安全とマナーの向上を図る。</li> <li>4. 学校生活の安全性と快適性を向上させるため、安心・安全な学校作りを進める。</li> </ol>
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価
年 度 目 標					年 度 評 価 (3月31日 現在)		実施日 令和4年5月11日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自ら考え判断し行動できる若者を育てるために、積極的に学ぶ姿勢を促し、自ら考え・表現する活動の機会の保障を十分に行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業の質の向上をはかり、生徒の興味・関心を育む。</li> <li>○ 能動的・主体的に学び表現する態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業の改善を目指して授業アンケートを実施する。</li> <li>○ 発表の機会を積極的に取り入れる。</li> <li>○ 獨協コースの活動を学校内外に効果的に広報する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業アンケートを実施したか。</li> <li>○ 能動的学習につながるような授業実践および題材の効果的な配信を引き続き探求したか。</li> <li>○ 発表の機会を積極的に取り入れたか。</li> <li>○ 獨協コースの広報活動を積極的に行ったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今年度はコロナ禍の影響で、2度の休校を余儀なくされ、その間の学習環境の差異が生じているため公平さを得られないとの判断から実施を見送った。</li> <li>○ 感染拡大期に2度休校措置を取ったが、オンライン授業を大きな混乱なく実施できた。</li> <li>○ 全校生徒に Chromebook が行き渡ったため、端末の活用を全教科心掛け効果的な学習の取り組みを積極的に行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICT 端末を利用した授業評価等、即効性のある評価を積極的に行う必要がある。</li> <li>○ 発表の機会については積極的な活用がなされた。今後は協働的な学びの機会の補償と充実を図る必要がある。</li> <li>○ 意欲を喚起する効果的な課題の配信の工夫と充実を積極的に行う必要がある。</li> <li>○ 獨協大学全体の魅力に触れる機会がコロナ禍で中止となり年間計画変更が余儀なくされた。今後共充実を図る工夫が必要である。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ より質の高い学習と自発的かつ継続的学習を促す授業展開及び環境整備を推し進める必要がある。</li> <li>○ 生徒の進学要求に応える必要がある。</li> <li>○ 教員の上級学校情報の共有化を目指す必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自発的な学習を促す。かつ継続的学習につながる指導と工夫を行う。</li> <li>○ 学習習慣の更なる確立を目指す。</li> <li>○ 英語 4 技能向上への充実を図る。</li> <li>○ 講習等の充実を図る。</li> <li>○ ICTを活用した教育実践を積極的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自習室の活用の機会の保証を図る。</li> <li>○ 学習者主体の能動的学習を適切に授業に取り入れる工夫をする。</li> <li>○ ICT 機器を積極的に活用し、主体的・協働的な学びの場や探究活動につながる深い学び等の指導と工夫を行う。</li> <li>○ 難関大学の入試に対応した授業や講習を積極的に行う。</li> <li>○ 他大学入試情報等情報共有の場を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自習室を積極的に開放したか。自習スペースを拡大充実させたか。</li> <li>○ ICTを積極的に活用したか。</li> <li>○ 主体的・協働的学びにつながる工夫と環境整備に対処したか。</li> <li>○ 難関大学の入試に対応した授業や講習および発展的学習の機会の提供を行ったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自習室は、下級生にも開放できるよう便宜を図った。</li> <li>○ 全学年、全教科 Chromebook の活用ができた教育の充実が図られた。また、3年生にも ICT を活用した教育実践が更に充実した。</li> <li>○ 主体的・共同的な学びの機会が増した。レベル別の講習を実施すると共に、総合型選抜などに対応するための面談指導などに力を入れた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自学自習用のスタディサブリの活用度合いは不十分である。引き続き各教科での誘導も必要である。</li> <li>○ 英語公的資格に対し、学校をあげて生徒の資格取得・能力向上に取り組む必要がある。</li> <li>○ それぞれの教科で発展的・能動的な学習の場を引き続き提供し続ける必要がある。</li> <li>○ 主体的学びの機会を十分補償する必要がある。</li> <li>○ ICTを活用した教育実践の共有を、教科内・校内研修および学外研修を奨励し、積極的に取り組めるよう引き続きに努める必要がある。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登下校時の安全とマナーの向上を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登下校時の安全とマナーの向上を図る。</li> <li>○ 他者に配慮した行動がとれるよう、道徳心を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ バスの乗車指導を継続する。</li> <li>○ 試験期間中の通学路での下校指導を継続する。</li> <li>○ バスや電車内等、公共の場でのマナー向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 乗車指導、学校周辺での登下校指導を継続したか。試験中の通学路での下校指導を継続したか。</li> <li>○ バスや電車内のマナーにかかわる苦情はなくなったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ バスの乗車指導、駅周辺での指導を継続して行った。</li> <li>○ 試験期間中の通学路での下校指導を継続して行った。</li> <li>○ バスや登下校における電車内マナー、徒歩下校時の苦情は数件見られ、駅前などで直接指摘されるケースも散見される。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登下校での安全対策とマナー向上、および、マスク着用・小声での会話など、バス・電車内のマナーが生徒に十分とは言えない。公共の場でのマナーや規範について継続指導が必要である。</li> <li>○ 日常的な下校指導への取組工夫が必要である。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒が安全に生活できるような環境作りを継続して推進する必要がある。</li> <li>○ 新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図ることが求められる。</li> <li>○ 三密を避けた学校生活の徹底が求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大地震に備えた態勢づくりを図る。</li> <li>○ AED 講習を行う。</li> <li>○ 携帯マナー教室を行う。</li> <li>○ 不審者侵入対応マニュアルを整備する。</li> <li>○ 休日の校内活動における来校者の把握に努める。</li> <li>○ 安心して学校生活が送れるよう、感染防止対策等を十分に行う。</li> <li>○ 学事課の方針に則った授業・課外活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地震発生に備え、食糧備蓄を維持する。また、避難訓練を実施する。</li> <li>○ AED 講習会を開催する。</li> <li>○ 携帯マナー教室を実施し、SNS などの安心・安全な利用法を理解させる。</li> <li>○ 不審者侵入に備えた態勢を確立する。</li> <li>○ マスクの着用、手指消毒の徹底を促す。</li> <li>○ 三密を避ける等感染防止を徹底した授業の工夫を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3 日分の食料・飲料水の備蓄を維持したか。</li> <li>○ 避難訓練を実施したか。</li> <li>○ AED 講習会を開催したか。</li> <li>○ 新入生を対象に携帯マナー教室を実施したか。</li> <li>○ 不審者対応マニュアルを周知したか。</li> <li>○ 休日の来校者把握に努めたか。</li> <li>○ マスク着用・手指消毒の徹底・日々の検温等の健康観察は徹底できたか。</li> <li>○ 換気・三密の回避等感染防止対策がなされた授業展開を行ったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高1を対象とした携帯マナー教室を実施した。</li> <li>○ AED 教室を、実習の規模を縮小しながらではあるが、実施した。</li> <li>○ 全体での訓練は実施を見送り、避難経路の確認にとどまった。</li> <li>○ 不審者対応マニュアルに基づき来校者を把握した。</li> <li>○ ながらスマホの対策を校内および登下校に講じた。また、HR での注意喚起を行った。</li> <li>○ コロナ禍の中で、感染防止対策を十分に取ったうえでの、新しい学びの工夫について徹底した。</li> </ul>	B+	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後も備蓄は継続する。</li> <li>○ 避難訓練・AED 講習・携帯マナー教室は毎年実施する。</li> <li>○ SNS を用いたトラブルを未然に防ぐための対策と対処法の共有を一層はかる必要がある。</li> <li>○ 部活動中の事故や苦情に対し、活動中の安全対策とマナーを徹底したい。</li> <li>○ 宣言発令有無にかかわらず、感染防止対策を一人一人心掛ける必要があることを訴えかけ、家庭にも協力を求める必要がある。</li> </ul>

学校関係者からの意見・要望・評価等
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自ら考え判断し行動するためには、基礎的なことが身につけている必要があり、基礎基本をしっかり押さえてほしい。獨協コースで取り組んでいるような論文作成を、他の生徒たちにも体験させたい。</li> <li>2. 学校での進路に関する情報提供と共有の場を、今後も継続していただきたい。その上で生徒自身がアンテナを高くして、自身で道を切り開く第一歩としてほしい。 英語の検定試験に関しては、保護者は英検以外はないためよく分からない点も多いが、志望校によっては英検以外のスコアが重要な意味を持つため、様々な検定試験への理解が進むような指導もお願いしたい。</li> <li>3. 獨協埼玉の制服を着ているという自覚を持たせるためにも、当たり前ではなく感謝の気持ちが持てるような指導を期待したい。 また、苦情が寄せられていることを知らない保護者も多いと思われるので、懇談会などで話題にいただき、家庭の協力もおおぐべきであろう。 携帯電話については、保護者よりも子どもたちの方が詳しいだろうから、生徒自身による啓発活動をしてもらうのも一つの方策である。</li> <li>4. 東日本大震災直後には非常時の対応に対するアナウンスがあったが、最近はないので、定期的に確認してほしい。 感染症対策は、可能なかぎり対策を取っていると評価している。</li> </ol>

